

東京農業大学



# 湘南稲桜会だより

発行 東京農業大学 校友会神奈川県支部 湘南稲桜会 発行責任者 松居靖雄  
事務局 〒238-0032 横須賀市平作4-1-9 清水圭一方 TEL 046-854-0044

## ＜第20回定期総会・創立20周年記念式典開催される＞

平成28年6月5日（日）午後1時30分よりホテルハーバー横須賀にて来賓5名、会員26名が出席して、第20回定期総会・創立20周年記念式典が開催された。

「定期総会」では、小清水副会長の司会により、廣濱事務局次長の開会のことば、松居会長のあいさつ、来賓の紹介の後、審議に入った。平成27年度事業報告・収支決算報告、平成28年度事業計画・収支予算、役員改選について審議し異議なく原案通り承認された。その後来賓を代表して加藤恒雄校友会神奈川県支部長からご挨拶と大学の近況などについてお話をいただいた。

「記念式典」では、清水事務局長の司会により、嶋村幹事の開会のことば、松居会長のあいさつの後、物故者への黙祷を行った。続いて、当会の発展のためご尽力された会員に対し感謝状と記念品が授与され、受賞者を代表して梅澤元会長から謝

辞があった。



（感謝状贈呈）

「記念講演」は、母校農学部農学科の長島孝行教授にお越しいただき、「生物の機能性を社会に落とし込むインセクト・テクノロジー ～環境と経済の両立を目指して～」と題した講演をいただいた。生き物たちの不思議な力を解明し、再生可能資源をものづくりに生かす「インセクト・テクノロジー、千年持続社会」を目指す長島教授の研究と実績について深い感銘を受けた講演で、大変





(長島教授の講演)

有意義でした。記念講演終了後一同で記念撮影を行い、関副会長の司会により「懇親会」に移り、松居浩一幹事の発声による乾杯の後来賓を囲んで和やかに懇談し、来賓の祝辞、出席者全員の自己紹介と近況報告の後に中山監事の音頭により、学歌を斉唱し、午後6時散会した。今回ご参加できなかった校友の皆様来年は、ぜひご出席下さるようお待ちしております。(事務局)

### <地区からのたより>

#### —葉山から—

水留 亨 (S44 学造)

七月十五日午後突然電話が鳴り、小清水さんから今回たよりの原稿を依頼したいということでした。サア困ったぞと思いましたが、何か一部でも紹介出来ればと引き受けてしまいました。私の趣味に関係した事では、ギターが大好きで、大学時代に憧れていた先生が日吉にお住まいであることが、以前職場の先輩がインターネットで調べたら判明し、縁あって二人で2001年の正月から平成12年頃まで日吉に月2回フラメンコ・ギターのレッスンに通うことになりました。細かい事は省きますが、紹介者の彼は途中でやめ、今師匠も故あって船橋のいわゆるグループホームで暮らしておられます。師匠の名は、伊藤日出夫(84歳)、日本のフラメンコ・ギターの世界では草分け的な方ですので年配の方はご存じではないかと思えます。さて、話題はそのフラメンコに関係した方々が、この逗子・葉山には沢山お住まいだということです。今は世界的に有名なフラメンコ・ギターの名手、スペインの国際ギターコンクールで優勝した沖仁さん、カンテ=歌の方では日本を代表するカンタオール石塚隆充さん、石塚さんの奥さままでスペイン人のカルメン・ポルセルさんはフラメンコ舞踊教室ラス・モナスを主催。お隣の逗子ではカルメンさんのお友達でもある、舞踊家樋口晴美さんは、スペインで16年間舞踊家、指導者として過ごしてこられ、日本に戻ってからも、アルバ・デ・アンダルシア(夜明けのアンダルシア)及び、アミーゴス・デ・ラスセビジャーナスの名前で活躍されています。また、エルカミーノ主催滝川恵さんや、鎌倉アーティストバンク所属フラメンコダンサー金丸真奈美さん、等々錚々たる皆様が生かされています。ところで、フラメンコって

何がそんなに面白いの?ということになりますが、これは理屈ではなく、若いときに聞いた音色、旋律が心に響いてはまった結果です。ところで、話が半分趣味の分野で紙面を割いてしまいました。さて、葉山には、毎週日曜日の8時30分~10時30分あたりまで、葉山の名店や人気店が集まる、「ハマ・マーケット日曜日」が葉山マリーナ近く、ラ・マーレ・ド・茶屋の裏手の鑑摺(あぶずり)港で行われています。駐車場は135台(有料)。地場野菜は8:00頃から、なくなり次第終了します。花、野菜、果物、魚、お弁当、まぐろ屋、旭屋のコロッケ、葉山港湾食堂のしらす丼、ボンジュールのパン、チャヤの朝市限定タルトやケーキの切り落とし、アクセサリ等いろいろ。早く行かないと売り切れちゃいますぞ!それから、逗葉新道料金所手前、南郷トンネル入口交差点信号側、新しく出来たガソリンスタンド・コスモ石油



の前に、2016年6月25日プレオープンした道の駅、SHOPPING PLAZA HAYAMA STATIONが9月1日グランドオープンします。乞うご期待!!!

また、京急電鉄から「葉山女子旅きっぷ」というのが、京急線各駅の自動券売機で販売されています。これは電車・バスの乗車券+選べる逗子・葉山ごはん券+選べるおみやげ券がセットになったキップで、品川から3,000円、横浜から2,800円、有効期間1日ということです。チラシが用意されていますので、女子限定キップではありませんので興味のある方は駅で貰ってご覧下さい。さてさて、ということでこれからはいろんなお店がありますので、私の知らない珍しい情報がありましたらお知らせ下さい。師匠から勧められ私も細々ながら初級の方を対象に、「伊藤日出夫ギタースタジオ葉山分室」としてギター教室を主催していますので、興味のある方はどうぞ覗いてみて下さい。暇つぶしには最適だと思いますよ。!!!

### <地区の活動 逗子・葉山地区>

恒例となりつつある暑気払いは、今年も逗子の鈴木久弥会員(S33学農)のご厚意により4回目を開催することができました。逗子・葉山地区以外の会員にも声をかけ8月21日(日)にバーベキューを行いました。前日の突然の豪雨で、天気が心配されましたが快晴となり実施することが出来ました。

今回は、鎌倉地区の会員も参加し11名となりました。鈴木久弥会員の娘さん鈴木由美会員（H1 学造）、関副会長（S50 学栄）の準備した手料理、参加者がそれぞれ持ち寄った葉山牛、美味しい日本酒など堪能しました。



学生時代の農大の校風、高校時代同じ学校に通っていたこと、学友などについて意外なつながりを発見し、年月を超えた楽しい思い出話などでのんびりと楽しいひと時を過ごせました。

総会や研修会とは一味変わった校友の集まりでした。（事務局）

参加の下嶋武志会計（S45 学造）の一句  
初秋とは 野分の中の 熱暑哉  
野分過ぎ 実り祝う 逗子の里

### ＜新役員紹介＞

中山大海 （H3 学農）

このたび監事を仰せつかりました、平成3年農学科卒業（昭和63年短大農業科卒業）の中山大海です。よろしくお願いたします。

農大を卒業後は、神奈川県に奉職いたしまして横須賀農業改良普及所を皮切りに、農業改良普及員、研究職、県庁でのデスクワーク等々、ひと通りの農業畑を経験して参りました。現在は古巣の農業技術センター三浦半島地区事務所であって、農家への技術指導、新規就農者等へのアドバイスを行っております。

ここ三浦半島は、県内でも有数の農業地帯であり、全国的に見ても冬のダイコン出荷量では、三浦市が市町村順位で一位であるなど、重要な位置を占めています。農家も比較的若手であり後継者も多くは確保されていることから、当面は野菜産地として現状維持が可能と考えられます。

但し、気候温暖化の影響で野菜産地が東南北部までシフトしたり、人口減少と消費者嗜好の変化



から、主力の重量野菜の需要が落ち込み農家収益の低下も見られます。そこで、作付け減少の著しい夏場に収益性の高い作目を導入したり、主力の秋冬ダイコン、キャベツに新規の需要を開拓しつつ、都市部に隣接した強みを活かして軟弱野菜を導入するなど、県内農業の発展のため、働きかけを強めたいと考えています。

もし、三浦半島の南部、京急線の三崎口駅などお立寄りの際は、すぐ近くに県農業技術センターの建物がありますので、2階の普及指導課にお越し下さい。また、ご連絡いただければ農産物、庭木の問題など、可能な範囲ご相談にも対応いたします。

### ＜寄稿＞

#### ＜音の風景＞

白鳥武秀 （S39 学化）

今年の春はいつになく鶯が近くで鳴き、耳を楽しませてくれた。近辺は宅地造成が盛んに行われ樹木が極端に少なくなってきているにも関わらず初夏にはホトトギスが鳴き、コジュケイのけたたましい鳴き声は目覚ましの代わりになる。

生活のなかへ野鳥の声が入ってくると感じたのはここ数年、仕事から離れ家に居てほとんどの時間をのんびり過ごすようになってからで、そうなる様々な音や声が気になり出した。ごく小さな音は稲桜会会員の方から頂いた蚕が今年も育ち、桑の葉を食む音は小さな羽虫の羽音より微弱だがさわやかに感じる。蚕や繭をみると昔祖母が織っていた機のリズミカルな音を思い出す。

家の前は近くの小中学校の通学路で毎朝小学生のにぎやかな声が活力源だ、登校する一団のなかに楽器のケースを携えた女子中学生が二人いる、トランペットとホルンで中学校ではブラスバンド、地域ではジュニアオーケストラのメンバーとのこと、夏の終わりのコンサートが楽しみだ、楽器ケースを見ているだけで彼女たちが生き生きと演奏している様が目に浮かび耳に響く。

楽器とは言うまでもなく音の発生装置、音楽を奏でる器具だが字面からすれば「楽しい器」、私の楽しい器はロックグラスかビール用のタンブラーと言った処か……。

私はテレビを見ながらなにか他のことをするというのが苦手なので CD をよくかける、交響曲、序曲からタンゴ、ファドまで色々、ラジオも聞くことが多い、このタイトルにした「音の風景」は



NHK の番組の一つで長い間 聞くとともになしに聞いている。日曜の朝シューベルトの楽興の時が始まる「音楽の泉」、また平日の昼は古関裕而作曲の「ひるのいこい」のテーマ曲を聞くと懐かしさを覚え、60年の歴史を感じる。

文字からも音が聞こえる、近くの山で鳴くハトはクク・・九九と、だから鳩だと。この時期はブンブン・・文文と、蚊がうるさい。

午後5時夕焼け小焼けのオルゴール、その後の晩鐘、またその時刻になるとヒグラシがカナカナカナで日が暮れる。秋になったらどんな音や声が耳に飛び込んでくるのか楽しみだ。

散歩の途中など耳からの情報だけではなく、目にする草木花、虫、鳥獣、日々之閑にありながらももう少し世間に迷惑をかけず自然の中を楽しみたい、今夜は遠くに花火の音が聞こえる。

## <最近の高校生>

堀江有二 (H3 学林)

現在勤めている高等学校に就いたのは、農大を卒業した平成3年4月でした。横須賀にあります私立の高校に、縁あって採用されました。本当のことをいいますと、農大の学生であったこともありまして、地方の学校に魅力を感じていました。農村にある学校で農大で培った様々な知識を、実際に使える学問として彼らに伝えたいと思っていたからです。北海道の学校で、『北の国から』のような農村で生徒と向き合うことを夢見ていました。ですが力及ばず、採用試験で見事に撃沈。その後、現在勤めている高校から声がかかったのが大学4年の秋のこと。その後25年間務めております。

当時、二十代半ばの私にとって高校生の年齢は近いものでした。初めて教えたクラスは3年生でしたので10歳も離れていません。私自身も大学卒業直後でしたので、教員としては半人前で、生徒とぶつかることが多くありました。お恥ずかしいことですが、当時の学校は俗にいい『ツッパリ』と呼ばれる生徒が多くいました。自分の考えていた教育手法や教育理念が全く役に立たず、就任一週間で転職を考えてしまったほどでした。私の父親も高校の教員でしたので、どうしたらよいのか相談しました。その時の父親の言葉は、『それは経験不足なだけだ。どうしたらいいのか時間をかけて自分で考えなさい。』

一見放任的な言葉でしたが、その一言で教員を続ける決意が強くなったと思います。やめようと思った私を恥ずかしく思いました。

『逃げる口実を考えるより、解決する方法を考えよう。生徒と向き合うことで自分も成長しなく

てはならない。』そう考えてからもう25年が経ちました。

さて、文章のお題『最近の高校生』ですが、昔と今の高校生に大きな違いがあるのでしょうか。

『最近の高校生は』と話すことが多いと思います。現場で彼らと接している私たち教員も、仲間内で話す際に昔の高校生と今の高校生とを比較することもあります。結論から言いますと、本質に違いはないと思います。流行・言動・服装。見た目の大きな違いが有ることは否定いたしません。私が教員になったころの高校生と比較すると、全くの別物のように感じてもおかしくはないと思います。ですが高校生としての、若者としての本質は変わっていないと思うのです。

なぜその様に考えるのかというと、彼らの内に秘めているエネルギーはどの時代でも変わらないと思うからです。部活動などに、あるいは趣味などにかける情熱は変わらないものがあると思います。

当時の高校生と、今日の高校生と何が違うのか。それは『選択肢の多さ』にあると思います。以前は選べる方法に限りがあり、表現の仕方にも限りがありました。ですから『高校生はこうあるべき』の型に当てはまる流行・言動・服装があったのだと思います。ですが今日ではどうでしょうか。あらゆるメディアが満ち溢れ、スマートフォンなどの情報媒体によりあらゆる表現を手にすることができます。すると既成の『高校生はこうあるべき』の型が崩れることになり、『最近の高校生は』になってしまいます。ですから彼らが変わったと言われるのは、そのような社会になってしまったからだと思うのです。選択肢が多く選択の方法により、我々にとって奇異な存在になったのではないのでしょうか。

『高校生はかくありき』と思わずに彼らを見てください。すると流行・言動・服装に惑わされない、本質を見ることができます。私たちも高校生の時代を過ごしてきました。時代が違うのですから、私たちと彼らを単純に比較することが出来ません。内なるエネルギーが私たちと同じであるからこそ、いろいろな方面で活躍する若者たちが存在するのだと思います。



ですから彼らと接する教員の仕事は、とてもやりがいのある仕事だと思っています。良き選択肢を指示してあげることが出来るよう、努力しております。皆さんも本質を見る目を持っていただき、彼らの成長を温かく見守ってください。

### ＜卒業生の活躍＞

正月の箱根駅伝は、ここ数年出場出来ず残念ですが、大相撲では農大卒業生が頑張っています。8月29日発表の番付で、正代（国際農業開発学科H26卒）が前頭二枚目、小柳（森林総合科学科H28卒）が幕下筆頭と発表されました。



正代（左）と小柳（右）

七月場所で二人はそれぞれ9勝6負、6勝1敗の成績でした。湘南稲桜会だよりがお手元に届くころは、9月場所は終わっておりますが、勝ち越しの場合は、小結、十両へと昇進します。十一月場所をお楽しみください。（事務局）

### ＜会員からのたより＞

総会の出欠席回答はがきに寄せられた会員のたよりをお伝えします。敬称略（事務局）

#### （横須賀地区）

- ・石橋 順作（S34 学林）  
腰痛のため通院しています。
- ・寺井 俊介（S35 学化）  
看護のいろいろな人が毎日出入りしていて、にぎやかに笑って過ごしています。お便りありがとうございます。
- ・江間 三恵子（S39 学栄）  
他の行事と重なり欠席します。
- ・菱沼 良平（S48 学経）  
先約があり欠席いたします。
- ・林 輝幸（S49 学造）  
相変わらず東京、埼玉方面に月～金の単身赴任中（もう22年ほど！）6/5当日も夕刻に東京に入ります。
- ・中谷 真司（S55 管栄）  
弥栄子（S57 管栄）  
ご盛会を祈念しております。
- ・菊本 充（S58 学経）  
福岡での単身赴任生活もやっと一年が過ぎました。総会の盛会を祈念しております。
- ・湖水 康史（S62 学農）  
今年は暖かくて、育ちの早い野菜に追いか

られています。

- ・中山 大海（H3 学農）  
遠視（老眼？）が進んでとうとうメガネの世話になり始めました。気がつくとも小学生の息子もメガネをしています。絶対に勉強のし過ぎでない事は分かっているので腹が立ちます。

#### （鎌倉地区）

- ・渡邊 亘（S23 学化）  
歩行不如意の為欠席させていただきます。
- ・梅澤 稔（S33 学農）  
従来の役職を退任し学童の見守りに努めてます。（14年目）
- ・嶋村 勝美（S39 学化）  
今年は苺が豊作で幼稚園児が喜んで摘んでいます。飽食の時代なのか苺の嫌いな子もいます。
- ・渡邊 文雄（S59 学工）  
盛会を祈念致します。

#### （逗子地区）

- ・鈴木 久彌（S33 学農）  
元気で働いています。
- ・関 恵梨子（S50 学栄）  
H28年4月より男性グルメ教室「グルメ会」が始まりました。旬を味わうので、竹の子ごはんにしました。88歳の母の介護もありますが前向きに生きています。
- ・鈴木 由美（H1 学造）  
お世話になります。当日は地方へ移住した同期に会いに行く予定になっておりますので、欠席いたします。農大を巣立って何年経っても会えば、当時と同じように話せる同期。農大ならではののでしょうか。

#### （三浦地区）

- ・池田 尚弘（S40 学農）  
5月18日～30日まで、東北ボランティア。南三陸、女川、南相馬、浪江、筑西・・・の予定です。
- ・川名 昌雄（S48 学農）  
今年度から地区の役員になり地域の行事と重なったため出席することができません。申し訳ありません。

#### （H27 年度卒業生）

- ・小城 緑（横須賀 造）  
出席できず、すいません。
- ・高橋 颯（鎌倉 森林）  
仕事の関係で宮崎県にいるため今回の総会は欠席させていただきます。よろしくお願いたします。

- ・池永 雄二郎 (逗子 バイオ)  
連休で帰省しましたが、現在大阪市に赴任しております。ご案内大変ありがとうございます。当日は欠席させていただきますが、今後よろしく願い申し上げます。

### ＜新入会員のお知らせ＞

次の方が入会されましたよろしく願いいたします。

- ・池田 厚 地区 横須賀  
6月5日入会 昭和48年 造園学科卒  
神奈川県支部 加藤支部長の紹介  
第20回定期総会に参加してくださいました。

- ・中村 文香 地区 横須賀  
8月29日入会 平成28年 農学科卒  
川名幹事の紹介

### ＜会員増強のお願い＞

#### 未加入校友に声かけ運動をすすめよう

毎年、会員の加入促進に取り組んでいますが新規加入者は微増にとどまっています。

「湘南稲桜会だより」への掲載、会員・役員の声かけ等、数年にわたり続けていますが実績は芳しくありません。このまま進むと高齢化がすすみ若年層が少なく組織的にも財政的にも危機的状況になりつつあります。将来的に稲桜会が維持・発展してゆくためには新規会員の加入促進が急務であります。ぜひとも、会員皆様の力が必要です。お知り合いの方に声かけし加入をすすめて下さい。

(会員増強対策委員会)

### ＜会費納入のお願い＞

毎度のお願いになりますが、年会費 3,000 円を未納の方は同封の郵便払込取扱票にてよろしくお願いいたします。

会の活動・運営に欠かせない会費であります。  
(事務局)

### ＜編集後記＞

会員相互の情報交換の場となる湘南稲桜会だより第36号をお届けします。

今号は多くの会員から寄稿いただき充実した紙面となりました。ありがとうございます。

41 個のメダルを獲得したりオ五輪が終わった。中でも感動したのは卓球女子団体の涙・涙の銅メダルに輝いた三姉妹の活躍であろう。「福原は努力の人、石川は天才、伊藤は天才を超えた怪物」

と村上監督は評した。

シンガポールとの三位決定戦では一番手の福原が負け、2番手の石川が3-0で完勝、3番手の福原・伊藤組が第1ゲームを失い第2ゲーム10-9の場面で伊藤が苦しい体勢からの返球がエッジボールとなり、このゲームをものにした。伊藤は引き続き4番手で3-0と圧勝、日本が3勝1敗で銅メダルとなった。準決勝でドイツとの対戦でエッジボールを受け惜しくも敗退したが、愛ちゃんは「神様はいるんだな」と語っていたのが印象的であった。  
(M. K)

### ＜平成28年度研修会のお知らせ＞

本年度の研修会スケジュールが下記の通り決まりました。

昨年までは、バスを借り上げての研修会でしたが、湘南稲桜会の会計も苦しく研修会の負担も困難となりましたので、今回は鎌倉散策を企画しました。以前に行った事のある寺院もおりかと思いますが、案内をして下さるボランティアガイドの皆さんによる説明で、新たな発見もあると思います。

ご家族・お友達お誘いの上、秋の一日をのんびり歴史と文化に触れてはどうでしょうか？  
ご案内申し上げます。

- 1 日時 平成28年10月22日(土)
- 2 行程 JR北鎌倉駅→長寿寺→建長寺→円応寺→鶴岡八幡宮→段葛→JR鎌倉駅(解散)  
解散後、希望者による懇親会を行います。
- 3 集合時間・場所 午後0時30分 JR北鎌倉駅(円覚寺側出口)
- 4 懇親会 午後4時30分ごろから鎌倉駅周辺
- 5 参加費  
研修会参加費： 1,000円  
懇親会参加費： 3,700円  
両方参加： 4,700円
- 6 申し込み 別途はがきにて10月15日(土)まで